

No.

領域：	パブリック、ビジネス		
テーマ：	若者に優しい社会・日本へ～これからの労働、教育、保育について考える～		
担当者名：	上村 一樹		
開講時期：	後期：月曜 4・5・6限	募集定員：	25名
内容：	高齢化大国、課題先進国などと言われる日本ですが、次世代が元気にならないと、日本から活力が失われます。高齢者への支援が重要であるのと同様に、若者への支援も重要になります。若者向けの代表的な社会保障/社会政策である労働、教育、保育といった問題について考えます。		
到達目標：	労働、教育、保育などの問題について、論理的に、事実や根拠に基づいて考えられるようになること。これらの問題について、自分なり・自分たちなりの解決策を考えられるようになること。		
講義方法：	教員の講義、皆さんの発表、Excel を使った簡単な実習などで構成されています。パソコンは頻繁に使うので、必ず持ってきてください。		
準備学習：	グループ研究の準備、配付資料の予習、Excel の復習など		
成績評価：	グループ研究（6限）、ミニレポート（4限）、ミニレポートのまとめ（5限）、統計分析の実習結果（5限）の総合評価		
欠席基準：			
講義構成：	<p>プロジェクトの3コマを、90分×3ではなく、4つのパートに分けて使います。また、偶数回と奇数回で内容が多少変わる予定です。／の左側は奇数回、右側は偶数回の内容です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教員からの講義（講義資料の説明か、PJT テーマに関連した書籍の概要の説明） 2. 履修者各自が 1. の講義内容に関連したミニレポートを書く（奇数回）／労働・教育・保育等について考えるのに役立つ統計分析方法の紹介（偶数回） 3. 数名のグループで、ミニレポートの内容について発表・議論して、その結果をまとめる（偶数回）／上記の統計分析方法の実習（Excel を使用、偶数回） 4. 「労働」「教育」「保育」等に関するグループ研究（一学期かけて完成させます。） 		
履修条件：	テーマに関心があること、学習意欲があること、説明会に参加すること、無断欠席しないこと		
推奨科目：	特にありませんが、経済学的な考え方は知っておいた方が良いでしょう。		
選考方法：	1. 完全抽選か、2. 何を学びたいかに関するレポート（数百字程度）で選ぶかのどちらかになるとは思いますが、まだ決定できていません。		
備考：	<ol style="list-style-type: none"> 1. 構成は多少変更になる可能性があります、「教員からの講義による知識の提供」「Excel でデータを分析して、実情を確認する」「自分個人の考えを Word や PowerPoint でまとめる」「最終回（付近）で自分たちなりの解決策を発表する」ということはやるつもりです。 2. 福岡大学との合同研究発表会を行う予定です。 		
説明会：	実施します。ぜひ来てください。		